



風の子 太陽の子

浜松市立相生小学校

令和5年7月3日

♡ 命について、学校でも家庭でも考えました ～ふわふわ言葉があふれる相生小学校に～ ♡

校長 鈴木晶子

1年生が育てている朝顔が色とりどりに咲き始め、自然公園が明るくなっています。また、中庭では、2年生の子供たちが、育てている、なす、ピーマン、トマト等の様子に一喜一憂しています。収穫時期を迎え、喜びもひとしおです。そうっと「大きくなってね」と声を掛けたり、休んでいる友達の分まで水やりをしたりする姿に心が温まります。

6月の『命について考える週間』では、朝会、道徳の授業、心の日の活動を通して、命の大切さについて考えました。また、1・2年生の生活科では植物を育てること、4年生では総合的な学習の時間「妊婦体験」、5年生では薬学講座や環境教室、6年生では交通安全リ



ーダーと語る会など様々な体験活動を通して「命」の大切さに気付かせ、考えさせる場を設定しています。左の写真は3年生の「心の日」の様子です。各学級、『ふわふわする言葉や行動』と反対に『ちくちくする言葉や行動』を話し合い、『命』について考えたことやこれから大切にしたいことを書き、家族からメッセージをもらいました。全児童のワークシートに目を通してあります。家族からの我が子に向けたメッセージには、深い愛情と他の児童を思いやる優しさがあふれ、感動しました。御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

じぶんのいのちをたいせつにするよ。(1年生)

「ありがとう」といつもSくんが言ってくれるからすごうれしーいよ。言葉は人を元気にするね。ふわふわ言葉をいっぱい言うと、Sくん的心もきらきら光るだろうね。(家庭より)

命は一度なくしたら二度と戻すことができないので大切にしたい。すごく大切にしたい。(3年生)

ちくちく言葉を体験した時は、一人で悩まないで両親や友達や先生にお話してね。気持ちが楽になるよ。自分が傷つくことは、友達にもしてはいけないね。これからも友達を気遣えるHくんできてね。(家庭より)

ちくちく言葉を言ったら自分も悲しくなるし、友達もいなくなってしまう。考えて言葉を使いたい。(6年生)ちくちく言葉は相手を嫌な気持ちにさせ、そして、自分も周囲の人にもその気持ちは広がっていく。ふわふわ言葉は、少し照れくさいかもしれないけど、仲良くなれる第一歩だと思うって、一日一回は誰かに伝える目標を持って欲しいです。(家庭より)



温かくなるとかかわる力



自分を高める力



あきらめずに挑戦する力



夢をもちつなげる力



浜松市立相生小学校
キャリア教育を推進しています。